

特37

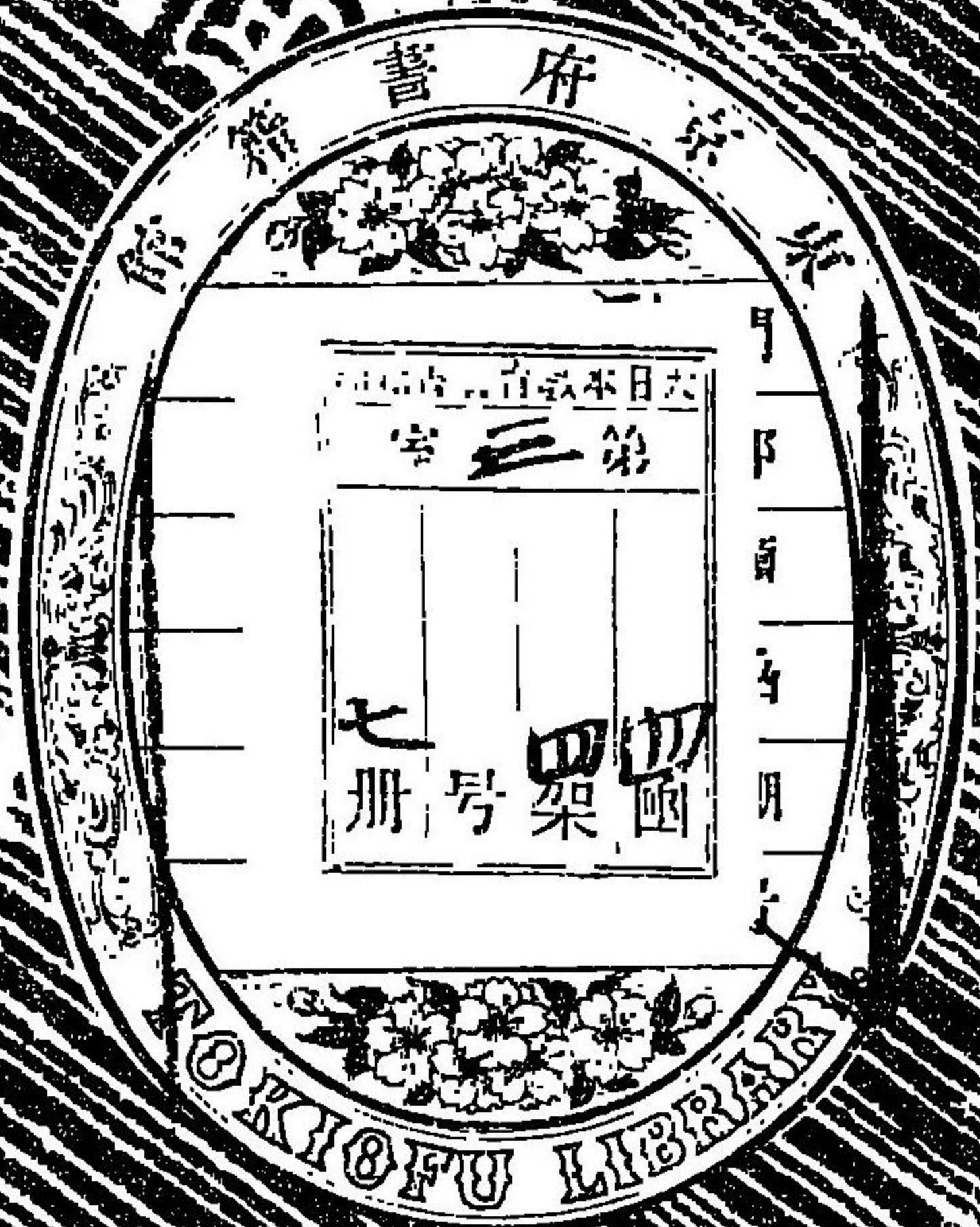
178

新開
選化

日用
算法

竹内修敬著
松岡正三校

卷七



新選
化
算
法

竹内脩敬編輯
松岡正三校正

開化
新選
日用算法
完

名古屋 皓月堂藏版

日用算法卷之七

竹内脩敬編輯
松岡正三校正

差分

金九百九十九圓と上中下の三名一
金と上等より中等と六圓多く何
中等より下等と三圓少く共と云得下
如何

東京
書局
發行

日用算法

六

一

三 一 米千石といふ甲乙丙丁戊の五名一分配
す甲より七石多く乙より丙と五
石五斗少く丙より丁ハ三石五斗多く
丁より戊ハ斗石少く分配もといふ各名
配米如何

三 一 甲乙丙丁戊の五名集て酒高と印しき
酒壹斗。七合と飲む甲より乙と三合
少く乙より丙と五合少く丙より丁ハ

壹合少く丁より戊ハ四合少くといふ
各飲たる酒如何

四 一 金貳百十六圓といふ九人一分共す并売
等より金五十錢遞減もといふ各所得金
如何

五 一 初救貳十四个遞減救貳分の壹なり其
九次の末救如何

六一 金貳百八拾四元と以八名一分配す
壹等以下逐減五圓なりと云各得下の
金高如何

七一 米五百八十壹石貳斗五升と五名一分
配す米等より次升倍増し分るを得
所の米高如何

八一 金三千四百五十八元四十錢と五名一
分共其逐減し五分の三とすを得

下の金高如何

九一 米貳百五十石壹斗貳升と以五名一
分共其米等より以下逐減し内貳割
者りなりと云米壹等の可得米如何

一〇 或人不毛の地開拓して五分寺に收穫
米百八十九石七斗六升。八夕有と云
初年より以下寺に外貳割宛多く取に
りとも年々の收穫米如何

十一 金六百三拾元と甲乙丙の三名に分
 ず中等ハ上等の割合の壺中等より下
 等ハ三元少く劣より之を得下の金高
 如何

十二 米三百三十三石と甲乙丙の三名に分
 ず甲ハ乙の割合の壺乙より丙ハ五
 石多し之を得下の米高如何

十三 同一拾石と斗と四名に分る 米をよ
 り并斗を半割并斗より米三を外割
 半増并三より并四を三石少く劣よ
 り之を得下の米高如何

十四 饅頭九千八百九十八と小學生徒
 一歳無し并各級生徒より通次三歳減て
 之と劣より并各級生徒三十五名并斗級
 生徒四十二名并三級生徒五十五名并
 四級生徒六十四名并六級生徒八十四

名并七級生徒九十六名并八級生徒百
計十名なり并七級生徒より各壹名
歳少者無一と云

一 米三十石石七斗。壹合九勺と上中下
三組より分る上組を番より次方に
内三割七分五厘下り中組を番より
決中より内計割下り下組を番より計
番より内三割下り計番より三番、外六
割下り三組共壹番の取米を等しく三

組より各人数三人宛なりと云
取米如何

一 金六百三拾八元と云甲乙丙丁の四名
に分配し甲と乙との比例を計と三の
如し乙と丙とを四と五の如し丙と丁
とを五と三の如しと云其得取の金高
如何

一 金九百六拾圓と人数計十五人に分配

日曆算法

五

す、逆次より四十銭減ると云ふ并を等の分
配金如何

六一 金九千七百五拾圓と若干の人員に分
配し、并、売等以下、次より同様にして、賣
売等の得取の金、八百九十九圓、末等の
得取の金、五百圓なりと云ふ人員は、
如何や

六一 金と分て、無ふ逆次三圓減す、其初を人

の得分と末を人の得分との差七十圓
圓なりと云ふ人員は、如何や

七一 一人救七人、は、金と分る初より以下、次
并、同様にして、初の人より末の人を
金十八圓少くと云ふ、如何

七一 兼、四百三十圓と九名は、分配し、初を
人の得分より末を人の得分、四百八
十圓少くと云ふ、初より以下、逆減等、如何

末壹人の得分如何

一 金貳百九圓と八名に分配す次并同
 差にして初の人貳十七圓なりと云末
 の人の得分金如何

一 若干の令と九人に分兵と并名身
 計名共一五拾壹圓五十錢并三名と并
 八名との差令計圓五十錢にして并
 名以下遞減等と云各分配高如何

一 金五百八拾五圓と六人に分兵と并番
 以下遞減等と并三番の取令百五圓な
 りと云并六番の取金如何

一 金四百拾八圓と八名に分配す并番
 以下遞減等と并番計番の分配金共
 百七圓五十錢なりと云并八番の分配
 金如何

一 人員五名に米と粟と其を等分等分
 米計百五十五石なり只云四等五等の
 分米合計百計十五石なり并毫等以下
 遞減等一と云并毫等の分米如何

一 人数六人し次并同差し米と分る其を
 番計番三番の米共し拾四石四斗なり
 又五番六番の米共し五石四斗なりと
 云各取米如何

一 人数九名に遞減等一と云金と分る其
 米計等の金共し金共計千五百元又五
 六八九等の金共し金共計千八百元か
 りと云并毫等共しと云如何

一 人数九人し次并同差し金と分配す
 其初末の分配金共し四十八圓又七等
 の分配金計十三圓なりと云終末の分
 配金如何

三一人員八名に逆次減等しく金と分配し
其毫等八等の分配金共より三百九十圓
又三等の分配金計百四十圓なりと云
并等々の分配金如何

二人員七名に次并同差より金と
分配し其毫番の分配金計十七圓計番
六番七番の分配金共七十五圓なりと
云并七番の分配金如何

一人員八人少て次并同差より米と分配し
其毫等計八等の分配金共より三百
七十石又七等の分配金九十九石なりと
云并等々の分配金如何

一 金百六十五圓と六名に逆減等しく分
配し并六等の分配金ハ并初等の十分
の毫なりと云并初等の分配金如何

一 甲乙丙丁戊己庚辛の八工産に工料四

十七兩三拾八匁拵甲よりしハ
六十錢少し乙より丙と七十錢少し丙
と丁と同敷なり丁より戊と三十錢多
し戊より己と半敷なり己より庚ハ内
三割下り庚より辛ハ内割下りなり
と云ふを得の賃金如何

筮一 米百八拾石と八石は分與するに并き
等以下通減等して并五等の分米七分
の毫と通減米ととと云并き等の分米

如何

筮一 米貳千貳百七拾五石と四石は分與
通減等して并き等の分米八分の毫と
以通減米とすと云通減米如何

筮一 金若干と上中下三名は通決内割が
く分能と并上等并下等の分米共し四
百拾兩なりと云并中等の分米如何

共一 米若干と五名に遞次外式割宛多く分
配す并三等と并五等の分米共よ八百
七十八石四斗なりと云并を等の得不
如行

共一 甲乙式隊に軍用金と六万六千。五拾
圓分兵と甲隊人員四百五十人乙隊人
員六百五十五人甲隊より乙隊ハ壹人
に付式十四圓少く兵ふと云各を人の
不得金如何

甲一 東西為組は金と分の東組の惣令員
六百七圓五千餘西組惣令員四百五圓
なり東より西ハ人較九人少く又を人
に付内式割下りと云東西の人員如何

四一 南北兩組惣人較九百九拾九人ハ金と
分の南組惣金五千六百七十五圓北組
惣金六千百三十壹圓廿五錢なり南上
り中ハ各人に付内を割下りなりと云

南北の人数及き人に付不得金如何

三

甲乙丙の三倉原に米を万千七百三拾
斗石と人夫同等に用ひて收入を
人夫売人の力らと比せし甲と乙と
と五と四の如し乙と丙とハ三と斗の
如しと云三倉原に收入の米高如何

三

金五千六百六十八匁四十沙より檜百
十を本と杉斗百八匁と松斗百八十を

本と買只を松より杉ハ売本に付金斗
匁五十銭女し松より松ハ金を匁換
女しと云各売本の代價如何

四

金七百三十八匁と人数と知らす米を
等以下内斗割下りにして完初
の取金の差百廿斗匁なりと云家初
の取金如何

一 金九百兩分共す其人救む多くして
 除限なりと云米等より逐次内割
 減じて米等との分配如何

雜問

一 米麦石救共し拾四石計斗五升と買右
 代價ハ等しと云米麦石救分て問

但石代 米四圓
 麦三圓十斗沙五匁

二 米若干と買り其代價と云米と買り米
 石救より麦石救ハ拾四石多しと云米
 石救何程なりや

但石代

米三圓廿沙

麦三圓五十沙

三 鶴龜共百以河り此足救と算少是ハ計
百七十計本りりると云鶴龜分て同

四 一 上下の米共九拾六石三斗りり此代
價共上四百五十圓なりりと云上下の米
分て同
但米圓二
上米を斗五升
下米を斗五升

五 一 大豆小豆石救共計百五拾石河り此代
價共上七百。五圓五十錢なりりと云大
小豆石救分て同

但石代

大豆計圓五十沙

小豆三圓廿沙

六 一 價拾錢以と桃と折共九十六と買桃十
ヲ代九重折十ヲ代を沙三重なりりと云
桃坊分て同

七一 上下の酒切りをさし交る壺外の代價
十斗鈔八厘の中酒と造るさし上下
の酒何れなりや

但 上酒を外代十斗鈔を壺外毛
下酒を外代十斗鈔

八一 長斗大五寸幅六寸四分厚さ五厘の赤
銅切り此目方壺貫百目なり金銅目方
分て同

但 金六長斗中五寸厚四寸四分目方百廿目
銅貫百目方百廿目

九一 壺外の價拾六錢の酒と又拾斗の酒と
交て壺外代拾を錢五厘の酒と三斗作
るより壺外量何れなり可なりや

十一 燧草を行價四十八斗又を行代三十四
斗五厘又を行價三十斗の三斗取交て
を行價三十六斗の只と拾斗行作るよ

日册算法

二

一五

ハ各取交る不如何

三 一 年割五分の利と又三割の利ありて金
 千貳百圓借りて年を割八分の利ありて
 貸出八年二割の利と得ると云ふ年割
 割五分の利とてち幾何金借得應きや

三 一 古白砂糖金を圓二六斤白砂糖金を圓
 二七斤下白砂糖金を圓二九斤と和し
 て金を圓二七斤半の砂糖と九斤製送

是所より各行行つて和し可なり也

三 一 大の月其日数合て三百三十日なり
 大小月分て問

但 大の月ハ三十日
 小の月ハ三十日

五 一 金三十圓七十八分と以木綿廿五反と
 布四十八反と買木綿廿反と布三反と
 木綿等一と云ふを及の代價何程と白

五 一 枳廿十五と柶三十廿と並段等一又枳
四十六と柶五十四の價ハ廿沙四厘四
毛安一と云老をウの價ハ柶なりや

六 一 枳枳拾六本の價と柶枳四十本の價と
同等なり枳枳を本と枳枳を本との價
三十廿錢四厘安一と云枳枳を本の價
如何

七 一 玄米と白米は一斗割減は白米を
外價七錢五厘なり今外三割減は時
ハ白米を外の價何程なりや

八 一 上下米合と九十九石買上米より下米
を價分の毫なりと云上米金を象と
計斗を外下米金を圖と計斗四斗あり
上米石數と同

九 一 上中下米合と四百三十斗石買上米中

米ハ代金を倍又中米より下米も代金を倍にして各石救如何

上米を計八升

但し圓の中米を計五升

下米を計五升

六一 金貳拾四圓少く上中下の米石高同等
に買其石高各何程と問

上米を計五升

但し圓の中米を計五升

下米を計五升

六一 金七拾貳圓少く大豆小豆と買小豆より大豆ハ石高を倍なりと云大豆代價如何

大豆を計五升

但し圓

小豆を計五升

六一 麦と米と交易は内何り米七石と大豆十石と價圓一大豆八石と麦六石四

斗と價等しき時ハ麦五十六石より若
干の米と得るべき也

一 金九拾九圓より上中下の米と買上米
より以下石高半分なり各代價分
て問

上米五斗五升

但し圓より中米五斗九升春

下米五斗四升

一 上中下の米より上米五斗五升
中米石代五圓なり上米二十七石五斗
と下米六十石と價同等なり今中米九
石六斗と下米と換りて石数何程なり
や

一 金百圓より上中下の米と買上米
より以下石高半分なり各代價分
て問

一 金千圓と云き圓と云き計幣の上米と云
計外幣の中米と云計五外幣の下米
と買上米と中米と石高同等中米より
下米と云計外少と云上中下米石
高如何

一 金千圓と云き計外幣の上米と又云圓
と若干幣の下米と石高同等と混合
て計外の價六割七厘五毛と賣進ハ
計

割の差なりと云下米を圓と何程なり
や

一 上下の米和して八十八石と買上米と
り下米と代價計拾五圓多しと云上下
米何程なりや

但云圓と
上米三斗。五合
下米三斗外

一 米麦石高同等と買と米代金四十五圓

麦代金三十七圓五十錢なり米麦を石の代金共小四圓四十沙なりと云米麦を石の代價如何

世

一 米麦各石數圓等を買米代金卅十圓五十沙麦代金十八圓七十五錢なり米より麦を石小付七十五沙なりと云米麦を石の代金如何

世

一 上下の米和して拾五石八斗を買上下

米代金各七十八圓拾貳沙五厘宛なりと云上米より下米を金を圓小付外三圓五厘宛を圓上下米は拾りし也

世

一 上下の米和して五石三斗五升を買上米代金拾五圓六十沙五厘下米代金拾四圓廿五沙なり上米より下米を金を圓小付四升五厘上下米を圓小如何

世一金六拾六圓と味噌増と肴と其割合
 大豆を石小片糶七斗八升迄を依半薪
 十束の積りなり大豆及迄薪は別
 や

大豆を斗六升

糶を斗八升

迄半

薪廿五束

但そ圓小

世一薪金を圓二八拾束なり水揚運賃と拵

て七十五束と當ると云但水揚より運
 賃と計沙計厘五毛多し金を圓小水揚
 運賃如行

世一或富人窮人に救助せんと毎日倉庫上
 り并七斗より出し並小窮人初日と計
 人決の日より計人家増なり老人と米
 計外より是と云ふる小餘不足なり施
 食たりと云其日救及窮人救はれり
 や

日用算法卷之七終

明治十二年三月二十日 版權御願
同 年四月八日 版權免許

編輯者

愛知縣士族

竹内脩敬

名古屋區江川橫町
十四番屋敷

定價六錢

同縣士族

校正者

松岡正三

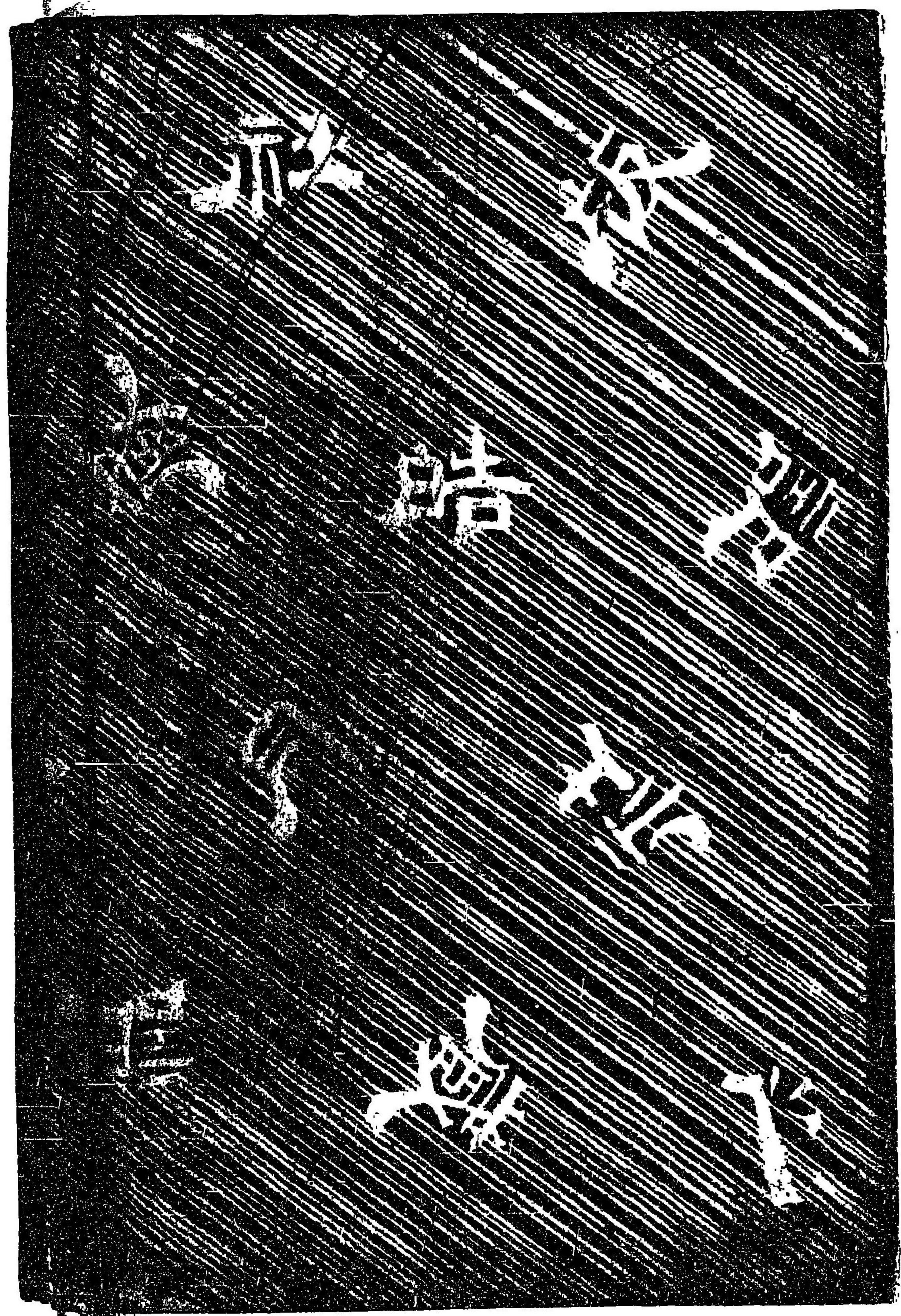
同區上園町三十四番地
八十一番屋敷

同縣平民

出版者

佐藤与介

同區江川早八番地
百七十九番屋敷



第 一

卷

第 二

卷

第 三

第 四

卷

第 一

卷

第 二